

2020年10月5日

金属産業新聞(3面)に掲載されました

1000人分のポリオワクチンに

ペットボトルキャップ収集

同社は、数年前よりペットボトルのキャップ収集を行っていたが、約100名分相当のポリオワクチンにあたる量を収集した。収集した本キャップは、認定NPO法人に寄付。ユニセフとの連携によりポリオワクチンとして支援国へ届けられ、必要とする世界中の子どもたちを救う活動の資源となる。

同社はSDGs（持続可能な開発目標）の活動を積極的に推進し、よりよい社会を目指して価値創造モデルを公開している。その中には地方創生や環境共生というマテリアリティ（自社に関わる重要課題）を掲げており、その一環としてCSR（社会貢献）活動は特に

積極的に取り組んでいる。その取り組みのひとつとして、「次の世代につ

積極的に取り組んでいる。その取り組みのひとつとして、「次の世代につ

回収したキャップの一部



回収したキャップの一部

なげる大切さ」や「絆」といった「繋がり」をキーワードに、一人ひとりが連帯の心を育み、共に社会をより良いものにすることを目的として、数年前よりペットボトルのキャップを収集し寄付することで、ポリオワクチンを世界中の子どもたちへ届ける活動を行っている。今年、コロナ禍により社会貢献活動の実施が難しい中、今出来ることを精一杯行うことを念頭に、ペットボトルのキャップ収集を積極的に行ってきた。

回収したキャップは8万4710個にのぼり、98・5人分のワクチンとなる。エコキャップは再資源化企業に売却され、売却益の一部がJCV（認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会）へ寄付される。Unicef（ユニセフ）との連携によりワクチンが発注され、製造されたワクチンは支援国へ届けられる予定だ。